

# 情報リテラシー

責任者・コーディネーター	情報科学科数学分野 江尻 正一 教授 情報科学科数学分野 長谷川 大 助教		
担当講座・学科(分野)	情報科学科数学分野		
担当教員	長谷川 大 助教		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期間	前期		

## ・学習方針（講義概要等）

“読み書き算盤”という古くからの言葉がある。これは“学びの基本”を示した言葉である。その本質は色褪せることなく、今も揺るぎなく生きている。複雑な現代社会の中で病める人々と向き合わなくてはいけないこれからの医療人にはさらに“聴く・話す”能力も求められる。コンピュータと関連機器は、これらの学びの要素の習得そして実践活用を強力にアシストする現代の“神器”である。しかし、ボタン1個押せばあとは御任せというわけにはいかない。学生諸君のこれからの勉学・研究生活の強力無比なアシスタントとして、コンピュータ類を高い倫理観をもって操る必要がある。そのための習得訓練が本科目の目的である。

## ・教育成果（アウトカム）

オフィスソフト他に対する多くの実践課題を取り組むことによって、ソフトウェアの活用やコンピュータシステム、ネットワークの基礎知識・基本概念を習得して、将来、専門領域等で出会う情報処理課題に対する、より適切な情報処理活用による迅速・効果的な解決能力を会得する。また、情報ネットワーク社会の構成員としての自覚と責任を十分に理解した上で、学内LANやインターネットをコミュニケーションツールとして利用することで、情報ネットワークの倫理規範等に従って安全に情報を活用することができる。

## ・到達目標（SBO）

- 1.コンピュータのハードウェア・ソフトウェアの基本構成とインターネットの仕組みを説明できる。
- 2.ネットワークエチケットの大切さをより深く認識できる。
- 3.情報セキュリティの基本を理解して協調的にネットワークに参加できる。
- 4.基本操作およびファイル管理システムを理解し、フォルダ・ファイルの管理が円滑に行える。
- 5.教科書記述の操作法を理解し、オフィス関連ソフトを利用できる。
- 6.ウェブページ表現の基礎を説明できる。

## ・講義日程

(矢) 東 203 マルチメディア教室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
6/7	火	3	情報科学科 数学分野	長谷川 大 助教	PCとネット/情報セキュリティ

6/7	火	4	情報科学科 数学分野	長谷川 大 助教	ワープロソフト(1)基本
6/14	火	3	情報科学科 数学分野	長谷川 大 助教	ワープロソフト(2)企画書 1
6/14	火	4	情報科学科 数学分野	長谷川 大 助教	ワープロソフト(3)企画書 2
6/21	火	3	情報科学科 数学分野	長谷川 大 助教	表計算ソフト(1)基本
6/21	火	4	情報科学科 数学分野	長谷川 大 助教	表計算ソフト(2)関数式
6/28	火	3	情報科学科 数学分野	長谷川 大 助教	表計算ソフト(3)グラフ
6/28	火	4	情報科学科 数学分野	長谷川 大 助教	表計算ソフト(4)データ処理
7/5	火	3	情報科学科 数学分野	長谷川 大 助教	プレゼンテーションソフト(1)スライド作成 1
7/5	火	4	情報科学科 数学分野	長谷川 大 助教	プレゼンテーションソフト(2)スライド作成 2
7/12	火	3	情報科学科 数学分野	長谷川 大 助教	プレゼンテーションソフト(3)ポスター作製 1
7/12	火	4	情報科学科 数学分野	長谷川 大 助教	プレゼンテーションソフト(4)ポスター作製 2
7/19	火	3	情報科学科 数学分野	長谷川 大 助教	ウェブページ(1)HTML
7/19	火	4	情報科学科 数学分野	長谷川 大 助教	ウェブページ(2)CSS

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	Word 2013 Excel 2013 PowerPoint 2013 ステップアップラーニング	定平 誠	技術評論社	2014
参	学生のための情報リテラシー	若山 芳三郎	東京電機大学出版局	2014
参	パワポで極める常勝プレゼン	住中 光夫	アスキー・メディアワークス	2011
参	HTML5&CSS3 辞典 第2版	アंक	翔泳社	2013

・成績評価方法

大よそ、課題提出も含めて積極的な取り組み状況を4割、課題内容を6割としてSBO基準で総合的に評価する。

・事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、参考書等・レジメを用いて予習・復習を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。

・特記事項・その他

各自、所有のノートPC（Windows8.1/office2013以降、最新セキュリティ対策済）を持参すること。  
【参照】医学教育モデル・コア・カリキュラムー教育内容ガイドラインー（平成22年度改訂版）

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートPC（MS Windows/Apple Mac）	1	担当教員資料作成、講義プレゼン
講義	ノートPC（MS Windows）	2	実験実習補助者資料作成、講義補助
講義	教室付属AVシステム一式	1	資料提示、講義プレゼン
講義	教室付属プリンタ	2	課題作成
講義	タブレット（Apple iPad）	1	講義プレゼン